

人権尊重都市鳥取市の実現をめざして

DV(ドメスティック・バイオレンス)は人権侵害です

☎ 本庁舎人権推進課 ☎ 0857-20-3143 ☎ 0857-20-3052



DVとは 配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振られる暴力のことをDV(ドメスティック・バイオレンス)といいます。一口に「暴力」といつてもさまざまな形態が存在します。殴る、蹴るといった身体的なもの以外に、精神的なもの(相手の心を傷付ける言動、無視、電話やメールを細かくチェックするなど)、経済的なもの(生活費を渡さない、仕事を制限するなど)、性的なもの(性行為の強要、中絶の強要、避妊に協力しないなど)も暴力です。

また、親が子どもの目の前で暴力をふるう「面前DV」など、子どもに精神的ダメージを与えてしまうものもあります。もし、あなたがこのような形で暴力を受けるなどして不安や恐怖を感じることもあるとしたら、それは対等な関係ではありません。

身近にあるDV被害の実態
本市が平成26年に実施した「鳥取市男女共同参画に関する意識調査」における「DVの経験・認知」の結果では、女性の約10人に1人が「直接受けたことがある」という実態があることが分かりました。

また、平成29年度内閣府男女共同参画局の調べでは、女性の約3人に1人、男性の約5人に1人は、配偶者から暴力被害を受けたことがあり、女性の約7人に1人は何度も受けているという実態が公表されています。

DVについて知ること
DVは相手の人権を侵害し、踏みこむ行為であり、いかなる理由があっても許されないことをしっかりと認識しなければなりません。

また、DV被害者が自ら声を上げることは、とても勇気がいることを知っておきましょう。

もし、被害を受けている人がいれば、「あなた(被害者)は悪くない」ということを伝えましょう。そして、私たちができることを考え、行動に移すことが被害防止や解決への第一歩となります。

「女性に対する暴力をなくす運動」パープル・ライトアップ
毎年11月12日から25日までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」(内閣府提唱)の期間です。

この運動期間中、女性に対する暴力根絶のシンボルである「パープルリボン」にちなんで、鳥取駅前



◆ライトアップ点灯日
11月12日(月)

DVは、「DV防止法」(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)で犯罪として明記されているように、決して許されない行為です。私たちの身近で起きているDVに気付くために、まず知ることから始めましょう。

DVとは



地域貢献の一環として、清掃奉仕作業に参加する会員のみなさん

シルバー人材センターとは?

◆高齢者の能力を活用
生涯現役社会を実現するため、豊富な知識と経験を活かしながら働きたいと願う高齢者の受け皿として、地域社会の期待に応えています。

◆多様な社会のニーズに対応
従来からの「請負・委任」による働き方に加え、企業などで従業員の人と一緒に働くことができる「シルバー派遣事業」も行っています。

◆地域社会に貢献
ボランティア活動などの地域社会参加活動を積極的に実行しており、活力ある地域社会づくりに貢献しています。

事業所のお仕事もお受けします

〜シルバー派遣事業のご案内〜
シルバー人材センターでは、ご家庭での仕事のほかにも、事業所からのお仕事も承ります。みなさんの職場の新たなパワーとして、シルバー派遣事業をご活用ください。職業経験や社会経験の長い高齢者が責任を持って仕事をします。

- 一時的な繁忙期の労働力の確保
- 人手の確保が困難な早朝、土日、短時間の仕事
- 慢性的な人手不足の解消
- 労務管理の負担の軽減

現在、約750人の高齢者が登録しており、元気でいきいきと活躍しています。

「元気なシルバー世代のパワーをいかそう!」

特集 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター

入会説明会のご案内

とき 毎月第2・第4火曜日
(祝日にあたる場合は翌日)
午後2時から(約1時間30分)
※予約不要

ところ 鳥取市シルバー人材センター 研修室

☎ 第二庁舎 経済・雇用戦略課
☎ 0857-20-3134
☎ 0857-20-3046
☎ 公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター (富安二丁目104-1)
☎ 0857-22-0050
☎ 0857-22-0051
✉ tottori@sjc.ne.jp
🌐 https://www.tottori-sjc.or.jp/

会員募集中!!

本市にお住まいの60歳以上の元気なシルバー世代のみなさん、会員に登録してセカンドライフを楽しみませんか。シルバー人材センターは、自分の生活スタイルや体力にあった働き方ができます。

- ◆定年退職したけど、まだまだ元気なので、もう少し働きたい。
- ◆働くことを通じて、同世代の仲間を増やし健康維持に役立てたい。
- ◆毎日の暮らしにメリハリを付け、充実した日々を過ごしたい。
- ◆家事や子育ての経験をいかして、社会の役にたつ仕事がしたい。

※シルバー人材センターでは、就業に必要な技能や知識を習得するための講習会も開催しています。

